

危険な場所への対応は

町長

要望を受けて対応する



加藤 紀之 議員



転落事故のあった御来屋地内の水路

【加藤】後援会活動のさなか、比較的人口が集中する街中に危険と思われる場所が見受けられた。

例えば、下市川に並行する道路にはガードレールがなく、転落すれば大ケガの恐れがある。また、御来屋には転落しケガをされた水路もある。

こういう危険な場所について、どう考えるか。

【町長】下市川の河川管理道は、県が管理者である。ガードレールなどを設置する場合に

は、管理者の許可を受ける必要がある。地元の要望を受けて対応する。

御来屋の水路は、集落環境整備事業を利用してもらうよう伝えている。

【加藤】高齢化した集落では、この制度も利用しづらいこともある。

【町長】集落でできなかったり、近所で助け合いができない部分は、地域自主組織に担ってもらう手もある。

我が町最大の課題は

町長

現役世代の定住施策の充実



岡田 聡 議員

【岡田】県下で最も若い町長ということで注目を集めている竹口町長、若さを武器に思い切った施策の実行も時には必要と考える。我が町の最大の課題をどう捉えているか。その改善、解決策は。

【町長】最大の課題は、人口減少問題であると考えている。特に現役世代の流出で、後継者不足や地域活動が継続できないなどの問題が発生している。

現役世代を引き留める、あるいは戻ってきてもらう施策の充実が必要である。



活況を呈する大山口南団地

【岡田】子育て支援での無償化や助成、継続的な財源確保は。

【町長】事務事業の見直しや、ふるさと応援基金を考えている。

【岡田】行財政改革の手法は。

【町長】費用対効果やすでに役割を終えているものなどを考えている。

【岡田】買い物弱者の利便性向上は。

【町長】デマンドバスやタクシー助成制度の見直しは公共交通会議で検討し、町民の皆様がさらに外出しやすいうようにしたい。